

台湾で JBC 連携大会を実施

2025 年 8 月 16 日、台湾・新北市の輔仁大学中美堂では『CFC 国際ボクシング大会』が開催。本大会は JBC と TCSDA（台湾格闘技発展協会＝Taiwan Combat Sports Development Association）が連携して運営したもので、日本からは原口秀司（M.T）、田中珠璃（本田フィットネス）の 2 名が出場しました。韓国からも 3 名の選手が参加し、計 3 か国による国際戦が実現しました。

大会に先立ち、現地では JBC が審判セミナーを数日間にわたり実施しました。これは、上半期に JBC で研修を行った洪茂氏（TCSDA）の発案によるもので、台湾における安全対策と競技水準向上を目的としています。洪氏は「台湾におけるプロボクシングの安全と発展に向け、コミッション間の連携は不可欠である」と強調しました。

第 7 試合に出場した田中は台湾の謝鑑宇と対戦しましたが、デビュー戦の緊張から動きが硬く、2 回に右ストレートを受けて KO 負け。試合後、「今回の経験を糧に見直しを図りたい」と前向きな姿勢を示しました。

メインイベントでは、原口が台湾の洪嘉慶と対戦しました。原口は序盤から相手のパワーに押され、判定 0-3 で敗れる結果となりましたが、「海外で戦うには受け身では通用しないと痛感した」と振り返り、今後への改善意欲を口にしました。

本大会は、台湾プロボクシング界の発展を後押しするとともに、JBC と TCSDA の連携を一層強化する重要な機会となりました。JBC としても、今後の台湾におけるプロボクシングの発展に大きな期待を寄せています。



元日本ストロー級チャンピオン
ロッキー・リン（林 明佳）氏